



© Eiji Shibata TEKO Design 2018

●健康医療機器開発 事例その1

マイクロバブルウォッシュシステムを使った身体洗浄機器 有限会社ターレス

ナノレベルの気泡を発生させることで、毛穴の奥の汚れを分解し、溶剤を一切使用しない皮膚に優しい洗浄方法。動物病院やペットのグルーミングサロンでの導入をきっかけに、人の頭皮洗浄の効果も実証し、ヘアーサロンなどにも販路を広げている。介護や医療現場でも使用可能な機器を開発中。



© Eiji Shibata TEKO Design 2018



© Eiji Shibata TEKO Design 2018

●健康医療機器開発 事例その2

車椅子用クッションの開発・製造から、オーダーメイドシーティング（採型）サービスの提供

株式会社 ピーエーエス

車椅子用シート開発でのノウハウを生かし、究極の座り心地を実現するための計測器（採型器）を用いたシートの開発・製造を開始。作業療法士がシーティングを行い、三次元スキャンにより、個人の身体の特徴をデータ化。車椅子使用者のみならず、一般向けのオーダーメイドシート製造も開始し、東京の南青山にショップオープン。フランス、イタリアなど海外まで販路拡大中。



© Eiji Shibata TEKO Design 2018



© Eiji Shibata TEKO Design 2018



© Eiji Shibata TEKO Design 2018

●健康医療機器開発 事例その3

幼児用移動支援機器「Baby Loco」の開発

社会福祉法人びわこ学園医療福祉センター

滋賀県立大学工学部機械システム工学 メカトロニクス研究分野

滋賀県立大学工学部とびわこ学園医療福祉センターによるプロジェクトに参加。障害を持った子供達の理学療法の一つとして、「自力で動くこと」を支援する電動モビリティ機器の開発を行っている。その一例が「Baby Loco」である。



© Eiji Shibata TEKO Design 2018



Baby Loco
 赤ちゃんのための安全な移動支援機器
 ○軽量で持ち運びが容易
 ○防塵防水仕様で安心して使用可能
 ○安全な材質を使用し、安心感を持ってご利用ください

Carry Loco
 自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器

Kids Loco
 園外活動や遠足などで移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○園外活動、遠足などで移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○園外活動、遠足などで移動支援を
 提供するための移動支援機器

Child Loco
 自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器
 ○自立がつかない子どもに移動支援を
 提供するための移動支援機器

Kids Loco Project
 早期の自立行動訓練は心身の発達に重要な役割を担う。また、自立行動訓練は、子どもたちの自立行動を促進する。また、自立行動訓練は、子どもたちの自立行動を促進する。また、自立行動訓練は、子どもたちの自立行動を促進する。

© Eiji Shibata TEKO Design 2018

●健康医療機器開発 事例その4

手で漕ぐ自転車「ハンドバイク」の開発 有限会社 宇賀神溶接工業所

車椅子使用者からの依頼で開発・制作がスタート。個人オーダーの一品生産品だったものが評判となり、その後も開発を続け、個人のみならず、リハビリセンターやレジャー施設への導入も始まる。ハンドバイク（ハンドサイクル）はパラリンピック正式種目でもあり、日本での認知度がアップしており、障害の有無に関わらず、新しいモビリティとして、今後の受注増が見込まれる。



© Eiji Shibata TEKO Design 2018